

氏名： 石口 彰 (ISHIGUCHI Akira)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
学位： 文学博士 (1989 東京大学)
職名： 教授
専門分野： 認知科学、人間情報科学
URL： <http://www.hss.ocha.ac.jp/akira1>
E-mail： ishiguchi.akira@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

視覚／学習／熟達化／感性／ベイズ推論
vision / learning / expertise / kansei / Bayesian Inference

◆主要業績

総数 (15) 件

- Ikeda, M., Tanaka, M. & Ishiguchi, A. (2007)
Science education of the "Brain and Mind" for junior high school students: The experiential cognition and development of e-learning program.
Annual Report of Cognitive & Kansei Science, Vol.4, 1-4
- Tokita, M. & Ishiguchi, A. (2007)
Effects of Continuous variables on numerosity discrimination. Annual Report of Cognitive & Kansei Science, Vol.4, 22-27
- Yakushijin, R. & Ishiguchi, A. (2007)
Ideal observer analysis in dual attention task.
48th Annual Meeting of the Psychonomic Society

◆研究内容 / Research Pursuits

1. 視覚パターン認知の統計的特性の検討
 2. 異種感覚情報の統合問題
 3. リスク情報の処理メカニズム
 4. 数量判断の認知過程と熟達化
身のまわりにあるリスク信号（リスクイベントに対する先行信号）の処理メカニズムに関して、実験的に検討する。基礎的な研究だけでなく、こどものリスク回避行動への応用研究へと発展させる。
1. Statistical properties of visual pattern cognition
 2. Integration problem of many kinds of information from perceptual systems
We have studied the cross modal perceptual systems. In particular, we have focused on the problem about the effects of the visual output on auditory or tactile perception.
 4. Cognitive process of mathematical judgment and expertise.

◆教育内容 / Educational Pursuits

【学部】

1. 認知心理学概論
人間の認知情報処理過程（パターン認知、学習・記憶、知識表現、推論と問題解決等）に関して、神経生理学、計算理論、行動科学的側面からの解説を通して、認知心理学の概要を理解する。
2. 認知心理学演習（基礎）
人間の認知機能、特にパターン認知、推論機能について、英語テキストの講読を通して、認知心理学の基礎を習得する。
3. 認知心理学演習（理論）
人間の視覚に関する理論的文献を購読し、内容について、プレゼン形式で発表する。さらに、視覚機能に関する簡単なデモンストレーションを参加者自ら工夫することで、理論と実際との関係を体験する。
4. 認知心理学研究法
認知心理学の研究方法を修得し、自ら研究する能力を身につける。

【大学院】

認知システム論・同演習

生体の認知機能や運動機能、その障害に関して、脳を中心とした神経的基盤を学ぶ。学生は、基本的な英文テキストの内容をコンピュータ・プレゼン形式で紹介するとともに、各自の研究領域に関する脳機能の説明を行う。演習では、主として、ニューラルネットのモデリング実習を行う。

【Under-Graduate Course】

Introduction to Cognitive Psychology:

I survey fundamental properties of the cognitive information processes in pattern cognition, internal representation, learning, memory, reasoning and problem solving.

【Graduate Course】

Cognitive System:

We survey and discuss the neural principles of the cognitive system. Registered students are required to show the contents with computer presentation, and to explain their research themes related to brain functions.

◆研究計画

現在は、人間の認知機能の基礎メカニズムを研究しているが、リスク情報処理やエイジングあるいは教育工学的応用等、社会的ニーズに適応した研究の比重を増やしていく所存である。

【現在進行中の共同研究】

知覚学習のベイズネットアプローチ
青山学院大学薬師神玲子准教授との共同研究

◆メッセージ

認知心理学研究室では、人間の認知に関する幅広い領域を扱っているため、学生の関心領域に沿った教育・研究指導が可能である。